

軽耐久オフィシャルマニュアル 2022

必ず守る⇒オフィシャルは時間厳守、 タイムスケジュール通りに行動すること。

コースオフィシャル

1. 役務概要

コース上の指定位置につき、競技車両の監視・トラブルへの対応・コースコンディションの管理・ピットイン、アウト・ピット内の監視等を担当します。

- ・ピットイン（4名）：一時停止確認、時間の確認、ウインカー一点灯確認、スタート時誘導、ゴール時誘導、ピットロード付近でのトラブル対応
- ・ピットエリア入場（1名）：入場者のパス確認、~~パス無し関係者への対応~~
- ・ピットアウト（4名）：コースイン誘導、安全装備の確認、時間の確認、スタート時誘導
運転席の窓全閉の確認、安全装備の確認は、必ずドアを開けて（ヘルメットあご紐、ネックプロテクター、服装、グローブ、シューズ、ベルトの締め具合の確認は肩ベルトを締められるだけ締める）
- ・ポスト1～9（2名、P8のみ3名計19名）
※合計28名 各ポストに1名、ポスト長（各ポストの責任者）を任命

2. 備品について

※本部にて準備

- ・旗（赤・黄・緑）コースポストのみ
- ・無線機
- ・消火器
- ・書類（コースポスト図、出走チェック表 IN/OUT）
- ・ほうき
- ・スコップ

※各自にて必ず準備

- ・軍手
- ・帽子
- ・タオル
- ・動きやすい服装（旗と同じような色の衣服は避けること！）
- ・長靴（天候に関わらず必ず）
- ・カッパ（雨天時）
- ・腕時計
- ・筆記用具

3. 競技開始までの動き

コース委員長の顔と名前を覚えること。各自、タイムスケジュールを把握しておくこと。
時間厳守。オフィシャルミーティングが行われる指定の時刻および場所に集合のこと。

(→担当区域の指定、備品配布、注意事項の確認を行う)

4. 競技中の動き

競技車両から目を離さないこと。

コース場の状況が絶えずクリーンであるように注意すること。

無線機は常に音量を最大にし、本部からの指示を聞き漏らさないこと。

不明点やトラブルが生じた場合は、すぐに連絡のこと。

無線機は頭の言葉が切れがちなので、必ず「ポスト〇番から～」とポストを先に、番号を後に言うこと。

コースイン、ピットイン時のウインカー点灯の確認、違反車は連絡する。

トラブルの現場に急行する際、安全確認を怠らないこと。

罰則の判断は自信を持って判定を行うこと。

(→万クレームをつけられた際は、コース委員長へ申し出るように伝える)

競技マナー違反の監視、遅い車に詰まる、または、ブロックして抜かせない等有るか、コーナーの中など無理な場所で強引に抜かず(接触等含む)等が無いか確認する。また、接触を確認した場合は必ず該当ゼッケンと接触状況を本部へ連絡する。

5. トラブルへの対処 (コースポスト担当)

1. クラッシュ・異常なスローダウンなどが確認された場合、本部に状況を伝えるとともに、慌てずに該当車両の監視を継続すること。

2. 黄旗の提示

- ・道路上に何らかの理由で停止する車両があった場合。
- ・競技続行が不可能(リタイヤ)であると判断した、または明らかに続行不能と分かるクラッシュが発生した場合。
- ・その他、後続車両が接近して危険が予想される場合
- ・停止車両を走路外へ移動するなど、作業が行われる場合。
- ・提示した車両のゼッケン番号を必ず本部へ連絡すること。

*いずれの場合においても、黄旗提示の場合は走路が塞がれていない事が条件。

3. 赤旗の提示

- ・転倒、横転車両があった場合。
- ・接触、クラッシュ等によって、走路が塞がれてしまった場合。

*原則として赤旗の提示は対象のポスト一箇所です。それ以外のポストでは黄旗を振動提示します。赤旗の提示ポストは後続車両を止めてプールのよう誘導します。

全車両が停止した後に、走路状況を判断し、コース委員長の指示により、その場から再スタートの誘導、もしくはコントロールラインまで徐行で戻るよう各車を誘導します。

旗を提示する際は、身を乗り出す・旗を大きく振るなどして、ドライバーに確認しやすいよう心がけること(限界状態のドライバーは視野が大変狭くなっているため)。

ポスト員は、旗の提示に際して絶対にコース上へは出ないこと、赤旗等によって、完全に競技の停止が確認された後に必要に応じてコースに出ること。

担当区域以外で赤旗の表示を確認した場合、応援を要請される場合があるので準備すること。

4. 緑旗の提示

緑旗はコースクリア、前ポストまでで提示された旗の解除(黄旗を提示された車両のゼッケンを確認し、その車両から緑旗を提示する)。

5. ポストでの作業

赤旗が提示された場合。コース上の全車両の停止を確認し次第、コース委員長に報告する。コース委員長が了解したその後、該当車両に近付いて以下の事後処理を行うこと。

- ・(自力で脱出できない場合) ドライバーの救出の補助
- ・車両およびドライバーの状態確認
- ・必要に応じて(負傷者発生・自走不能など)、レスキュー車の出動要請
- ・部品などの散乱の有無確認、及び清掃
- ・本部への状況報告(逐一)

リタイアした車両は、走路外に移動し競技終了まで走路外に置く。赤旗で停止後の再スタートは原則、徐行でコントロールラインまで移動させる。

全ての後始末が完了したら、元の位置に戻って担当区域を見回し、競技再開に支障がないことを本部に報告し、緑旗を振ること。

【車両が転倒・横転した場合】

ほうき・スコップ・消火器を持参する。

キルスイッチを切り、ドライバーを救出した後、損傷側から車両を起こすこと。

ガラスが飛散した場合は、各車に装備されているビニール袋に破片を集めて車内へ。

【火災の恐れがある場合】

ドライバーの脱出を確認した後、消火器を利用して消火に努める。

部品の飛散や炎が噴出す恐れがあるので、絶対にボンネットを開けないこと。

【再スタート時の対応】

コース内の対応が終了し車両を再スタートさせる時、車外に降りたドライバーのシートベルトの装着補助、締め具合の確認を実施。再スタートに向けた車両の誘導。

また、先導車誘導の隊列のままピットインした場合。再スタート時には各車の安全装備の確認はピットイン、ピットアウトのオフィシャルが行う。

【散水車導入時の対応】

規則書の変更により、散水車導入時にはセーフティーカーの先導により、競技車両は隊列を組んで走行する。その場合、フルコースイエローコーションとなり、全ポストにて黄旗を提示(静止)する。その間コース上での追い越しは禁止。各ポスト員はコース上にてトラブル、スタック等で止まってしまうクルマが無いか要確認、特にポスト3では上り坂のスタック車両を要確認。散水車、SC 退出後コントロールライン上の緑旗でレース再開、各ポスト黄旗は下げる。

その他のオフィシャル

1. 受付（連盟員担当）

- ・2名×2チーム 合計4名
- ・参加チームの確認、
- ・参加申し込み時の不備書類等の受領
- ・袋詰めしたゼッケン単位の配付物の配付
- ・~~パドックパス申請書の受領とパスの配付~~
- ・嘆願書の受領→競技長へ提出
- ・本部テント(無線交信の記録 3名)

2. 車検

- ・車両担当 担当役員理事2名、~~学生2名 2名×2チーム~~ 合計2名
- ・車両担当の学生は、技術担当役員の補助
- ・参加者装備確認担当 担当役員理事1名 学生2名×2チーム 合計5名
- ・参加者装備確認
チェックシートを基に、本人確認(健康状態)、運転免許証、競技ライセンス、ヘルメット(規格シール、ネーム、血液型)、**ネックプロテクター**、グローブ、シューズ、服装(レーシングスーツは学生の部)
* 安全装備類のすべてにおいて、傷、損傷、破れ、等の無きこと。問題があった場合は、技術担当役員の指示を仰ぐ。
* 合計7名(担当役員理事3名、学生4名)

3. パドック入場

- ・1名(ピットイン担当と同じ場所)
- ・パドックに入場する人のパスを確認する。パスの無い人は入場不可。
- ・本年は事前申請した人以外にパドックパスは発行しないので下記の業務は無し
- ・~~パスの無い人の中、連盟関係者(各大学OB、自動車部関係者、協賛企業、等)についての~~
~~み、入場誓約書の内容を確認して、了解して頂いた方に記録簿に記名して頂き、パスを~~
~~出す。帰る時には必ずパスを返却して頂くよう依頼し、帰りに返却して頂く。~~

その他

1. 罰則への対処

- ・各オフィシャル担当者は、競技規則を熟読すること。競技規則に対して間違った判断を下してはならない。
- ・特に、ペナルティー、失格条項については熟知すること。
- ・競技規則(ペナルティー、失格規定)に反する行為、行動等を発見した場合は、直ぐに本部、競技長、競技役員宛に報告する。
- ・その場合、簡単な注意等は別にして、ペナルティー、失格規定に関わる事由については、オフィシャル個人で判断してはならない。必ず本部役員に、個人、車両、チームを特定し違反内容を具体的に報告する。報告を基に判断は審査委員会にて審議、決定される。

<オフィシャル必要人員>

学生：ポスト員 $2 \times 9P + 1 = 19$ 名 ピットイン 5 名 ピットアウト 4 名

コース担当計 28 名

車検担当：車両 0 名 人、装備 4 名、

~~計時担当：2 名~~

無線記録：3 名

オフィシャル人員 合計：35 名

OB：ポスト員 $2 \times 9P = 18$ 名 ピットイン 3 名 ピットアウト 4 名

コース担当のみ 25 名

以上